



VeriTrans 4G

IVR 決済ソリューション

導入テストガイド

Ver. 1.0.2 (2019年11月)

目次

1.	本ガイドについて	3
1.1	本ガイドの内容	3
1.2	本ガイドと関連ガイドの対象者	3
1.3	著作権、および問い合わせ先	3
1.4	改訂履歴	4
2.	テスト準備	5
2.1	テストを行うまでに必要な準備	5
2.2	アカウントについて	5
2.3	テスト取引と本番取引について	5
2.4	テスト実施で必要となる情報	6
3.	テスト手順	7
3.1	IVR 決済のテスト	7
3.2	クレジットカード決済のテスト仕様	8
3.3	API 連携のテスト	9
4.	確認ポイント	10
4.1	IVR フロー	10
4.2	クレジットカード決済	10
4.3	API 連携	10
4.4	オペレータ通話戻しオプション	10
5.	その他	11
5.1	取引 ID について	11
5.1.1	テストアカウントを用いてテストを行う場合	11
5.1.2	本番アカウントを用いてテストを行う場合	11

1. 本ガイドについて

1.1 本ガイドの内容

本ガイドは、VeriTrans4G IVR 決済ソリューションを導入いただきました加盟店様におきまして、システム構築後に行うテスト仕様について記載しています。

1.2 本ガイドと関連ガイドの対象者

タイトル	概要	管理者	オペレータ	開発者
管理者 Web ご利用ガイド	管理者 Web をご利用いただくためのご利用ガイドです。	◎		
オペレータ Web ご利用ガイド	オペレータ Web をご利用いただくためのご利用ガイドです。		◎	
API 連携 開発ガイド	APIを利用して加盟店様のシステムとIVRサーバ間で情報連携を行うための仕様を記載した開発者向けのガイドです。 API 連携を利用する場合は、ご確認ください。			◎
補足資料	VeriTrans4G IVR 決済ソリューションサービスにおいて、考慮すべき内容を記載しています。	◎	◎	◎
決済結果コード一覧	クレジットカード与信処理の結果コードについて記載されたドキュメントです。	◎	◎	◎
導入テストガイド	本ガイド システム構築後に行うテスト仕様について記載しています。			◎

1.3 著作権、および問い合わせ先

[著作権] 本ドキュメントの著作権はベリトランス株式会社が保有しています。

Copyright (c) 2019 VeriTrans Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

ベリトランス株式会社 テクニカルサポート	
Eメール	tech-support@veritrans.jp
受付時間	月～金曜:9:00～17:45(土日祝除く) お問い合わせのご返答は弊社営業日／営業時間内のみとなります。

1.4 改訂履歴

2019/02 : Ver1.0.0 リリース

2019/08 : Ver1.0.1 リリース

「5. その他」

「5.1 取引 ID について」

・「5.1.1 テスタアカウントを用いてテストを行う場合」を追記

・「5.1.2 本番アカウントを用いてテストを行う場合」を追記

2019/11 : Ver1.0.2 リリース

「2. テスト手順」

「2.2 クレジットカード決済のテスト仕様」のテスト用クレジットカード番号から「その他」を削除

2. テスト準備

2.1 テストを行うまでに必要な準備

テストを行う際、以下の準備が完了している必要があります。

1. 各処理サーバやネットワーク等において IVR 決済ソリューションサーバと通信できる環境が整備されている
2. テストで用いるアカウント情報(IVR マーチャント ID 等)を取得している
3. API 連携をご利用の場合、API 連携を行うシステムの開発が完了している

2.2 アカウントについて

以下のどちらかのアカウントを利用して、テストを行ってください。

1. 本番アカウントを用いてテストを行う

本番アカウント(本番用マーチャント ID)が発行されましたら、本番アカウントを用いてテストを行ってください。

動作モードを「テストモード」に設定することで、テストアカウントと同様のテスト取引を実施することが可能です。

※動作モード(本番モード/テストモード)の設定は申請が必要となります。

申請方法につきましては、『管理者 Web ご利用ガイド』の『第 5 章 各種申請について』をご参照ください。

2. テストアカウントを用いてテストを行う

本番アカウント発行前にテストを実施する必要がある場合や、本番アカウントを利用してテストを行うことに何らかの理由で問題がある場合は、テストアカウントをお貸しいたします。テストアカウントをお貸しするには申請が必要となります。

申請方法につきましては、『管理者 Web ご利用ガイド』の『第 5 章 各種申請について』をご参照ください。

※テストアカウントの IVR マーチャント ID は、「Test***」のフォーマットとなります。

※テストアカウントの取引はすべてテスト取引(テストモード)となります。

2.3 テスト取引と本番取引について

テスト取引(テストモード)は、決済のテストを行うために決済サーバにて決済事業者(クレジットカード会社)からのレスポンスを疑似的に発生させる等の仕組みで取引のステータス遷移をシミュレートするものとなっております。

そのため、テスト取引の動作は本番取引と全く同じというわけではありません。

サイトオープン後のトラブルを防ぐために、テスト取引の実施後に、本番取引(本番モード)のテストを実施していただくことを推奨いたします。

(本番取引では、本物の取引が発生いたしますので、ご注意ください。)

2.4 テスト実施で必要となる情報

テストを行う前に、以下の情報がそろっていることをご確認ください。

項目	例
IVR マーチャント ID	Testabc01
オペレーターユーザ ID	testOP01
オペレータ Web ログインパスワード	Va+e5-No7s
オペレータに割り当てられている電話番号 (IVR 番号)	05012345678
管理者ユーザ ID	testAdmin1
管理者 Web ログインパスワード	A8-T6qDo+G
転送番号 (外線転送／オペレータ通話戻し転送をご利用の場合)	03-1111-2222 または 1234(内線番号の例)

また、オペレータ通話戻しオプションをご利用の場合は、使用するオペレータの「オペレータ戻し番号」が設定されていることをご確認ください。

設定方法につきましては、『管理者 Web ご利用ガイド』の『3.5.6 オペレーターユーザの設定を行う』をご参照ください。

3. テスト手順

IVR 決済のテストは、次のような手順で動作を確認することができます。

各画面の操作方法につきましては『管理者 Web ご利用ガイド』、『オペレータ Web ご利用ガイド』をご参照ください。

3.1 IVR 決済のテスト

IVR 決済のテスト手順は、以下の通りです。

1. オペレータ Web にログイン

ブラウザにてオペレータ Web にログインします。

2. 決済情報を指定

決済情報連携画面にて、取引 ID、決済金額、支払回数等を指定します。

API 連携をご利用の場合は、API 連携にて値を連携し、決済情報連携画面に想定通りの値が表示されるかをご確認ください。

3. 電話をかけ、決済情報を送信

オペレータに割り当てられている電話番号に電話をかけます。IVR が応答し、決済情報を受け付けられる状態になると、決済情報連携画面の送信ボタンが有効になりますので、送信ボタンを押下します。

この操作は、実際の運用では消費者様よりいただいたお電話を IVR システムに転送するオペレーションに相当します。

4. IVR の音声に従って電話機を操作

実際に消費者様に流れる IVR の音声流れますので、IVR の音声案内に従って、電話機を操作してください。

※カード番号の入力を求められますので、『3.2 クレジットカード決済のテスト仕様』に記載のテスト用カード番号をご入力ください。

5. 管理者 Web で取引を確認

ブラウザにて管理者 Web にログインし、決済結果確認画面にて取引をご確認ください。

3.2 クレジットカード決済のテスト仕様

テスト取引(テストアカウントやテストモード)では、以下のテスト用カード番号のみ利用可能となります。

テスト取引では、テスト用カード番号以外の番号を指定するとクレジットカード決済は失敗(エラー)となりますので、ご注意ください。

◆テスト用クレジットカード番号

VISA	4111111111111111
MasterCard	5555555555554444
	5105105105105100
	5500000000000004
JCB	3528000000000007
	3528000000000015
	3528000000000023
	3530111333300000
AMEX	378282246310005
Diners	36666666666660

クレジットカード番号の入力間違い以外にも、出現頻度の高いエラーの異常系テストを実施できるよう、テスト用カード番号と合わせて以下の有効期限を入力頂くことで、エラーレスポンスが戻ります。

◆エラーレスポンス用有効期限

vResultCode	有効期限(MMY)	vResultCode	有効期限(MMY)
AG33	0199	AG61	0999
AG41	0299	AG49	1099
AG64	0399	AG48	1199
AG39	0499	AG44	1299
AG45	0599	AG47	0198
AG70	0699	AG71	0298
AG46	0799	AG51	0398
AG72	0899		

※セキュリティコードについて

セキュリティコードは、3桁か4桁の任意の数字をご入力ください。

テスト取引の場合、セキュリティコードの数字によって結果が変わることはありません。

3.3 API 連携のテスト

API 連携をご利用の場合は、API 連携にて想定通りの値がオペレータ Web の決済情報連携画面に表示されるかをご確認ください。

1. オペレータ Web にログイン

ブラウザにて、オペレータ Web にログインします。

ログイン後、決済情報連携画面にて、取引 ID、決済金額、支払回数等の入力フィールドが編集不可となっていることをご確認ください。

2. API 連携

API 連携を実施し、取引 ID、決済金額、支払回数等が想定通りに決済情報連携画面に表示されることをご確認ください。

エラーが発生した場合は、『VeriTrans4G IVR 決済ソリューション API 連携開発ガイド』をご参照の上、API 連携を実行するシステムの設定等をご確認ください。

4. 確認ポイント

4.1 IVR フロー

IVRによる音声案内が想定通りに動作するかをご確認ください。

確認ポイント	確認内容
セキュリティコード取材	「利用する」の場合、IVRにてセキュリティコードの入力が求められること、「利用しない」の場合はセキュリティコードの入力が求められないこと
他決済案内設定時(オペレータ戻しオプションは未指定)	クレジットカード決済に失敗した場合に、他の決済手段(ペリトランス提供コールフローの場合は代金引換)による受付が行われること
金額 NG 時転送設定時	案内金額に誤りがあった場合に、設定した電話番号に通話が転送されること
他決済時転送	クレジットカード決済に失敗した場合に、他の決済手段(同、代金引換)の案内と合わせて、設定した電話番号に通話が転送されること

4.2 クレジットカード決済

クレジットカード決済におきましては、結果コードを確認し、想定通りの結果が得られていることをご確認ください。

特に、以下の結果コードが発生している場合、加盟店様内の操作ルール(決済情報連携画面への入力)をご確認ください。

API連携をご利用の場合は、API連携を行うシステム仕様をご確認ください。

結果コード(上4桁)	確認ポイント
NH02	テスト取引でテスト用クレジットカード番号以外を使用していないか
NH18	過去に使用した取引IDを再度指定していないか

4.3 API 連携

API連携では、対応するオペレータがログインしている決済情報連携画面に想定通りの値が表示されるかどうかをご確認ください。

API連携におけるエラー(vResultCode)につきましては『VeriTrans4G IVR 決済ソリューション API連携開発ガイド』をご参照ください。

4.4 オペレータ通話戻しオプション

オペレータ通話戻しオプションをご利用の場合は、決済確定後、想定通りの転送が行われることをご確認ください。

5. その他

5.1 取引 ID について

5.1.1 テストアカウントを用いてテストを行う場合

IVR のテストアカウントに設定している「決済用マーチャント ID」には、共用テストアカウント(※1)を設定しています。

共用テストアカウントは、複数の加盟店様に共用でご利用いただいております。

このため、指定した取引 ID が他の加盟店様が利用した取引 ID と重複し、エラーが発生する場合があります。

取引 ID の重複を避けるため、取引 ID に加盟店様を特定する文字列(社名、サイト名等)を含めていただくことを推奨しています。

※1 共用テストアカウントは、VeriTrans4G のサポートページ(<https://www.veritrans.co.jp/trial/login/4g/>)にログインしていただき、
[プログラム・資料 ダウンロード]-[VeriTrans4G-MDK]のページにある『テスト利用情報通知書』に記載されています。

5.1.2 本番アカウントを用いてテストを行う場合

テスト取引で使用した取引 ID は、本番取引で再度使用することはできません。本番取引開始の際は、取引 ID の採番にご注意ください。